

Vienna de luxe

外 寸	W337×D325×H400 mm
重 量	8.0 kg
電 源	AC 100 V
消費電力	1,250 W・50/60 Hz
水タンク容量	1.7 L
豆ホッパー容量	300g
抽出時間	レギュラーカップ約40秒
ポンプ圧	15気圧
コードの長さ	1.0 m



日本サエコ株式会社

本 社：〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 大崎ニューシティ4号館 3F

技術・流通センター

TEL.050-5525-7025 FAX.045-938-5066
e-mail : support@saeco.co.jp

URL : <http://www.saeco.co.jp>

2008.1

Vienna de luxe 取扱説明書



サエコ・ヴィエナ
デラックス



安全上のご注意を 必ずお守りください

CONTENTS

安全上のご注意	1
1. お使いになる前に	3
・各部の名称	3
・操作ボタンと表示ランプ	4
2. 初めてお使いになるとき	5
・豆容器に豆を入れる	5
・水タンクに水を入れる	5
・電源を入れる	6
・空気抜きを行う	6
3. さあコーヒーを入れましょう	7
・コーヒーの量を決める	7
・コーヒーの味を調整する	7
・コーヒーを入れる	8
4. その他の機能	9
・お湯の抽出	9
・スチームの使用	9
・スチームの解除	9
・警告ランプ	10
5. 保守・メンテナンス	11
・毎日のクリーニング	11
・ブルーイングユニット(抽出器)のクリーニング	13
6. 困ったとき、ご確認ください	14
仕様	裏表紙

この度は、サエコ コーヒーマシンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、大切に保管してください。

表示の説明

ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい表示の説明です。良くお読みいただき、理解して遵守してください。

この取扱説明書は、必要な時にいつでも見られるよう、わかりやすい場所に保管しておいてください。

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損傷・損害を次の表示で説明しています。

警告

この表示は、誤った取扱いをすると「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を表示しています。

注意

この表示は、誤った取扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害の発生する可能性が想定される」内容を示します。

警告

独自の改造や分解は絶対に行わないでください。
ヤケドやケガ、感電の原因となります。



マシンのカバーを取り外したり、中のパーツに触れたりしないでください。
ヤケドやケガ、傷害、感電の原因となります。



小さい子供だけで使わせたり、幼児の手の触れるところでは絶対に使用しないでください。
大ヤケドや大ケガの原因となります。



プラスチック、ポリエチレンなどの梱包材は、小さな子供の手の届かない場所に置いてください。

マシンを水に浸したり、水をかけたりしないでください。
ショート、感電の原因となります。



濡れた手足でマシンを使用しないでください。
感電の原因となります。



スチーム・給湯ノズルを使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れたりしないでください。
大ヤケドや大ケガの原因となります。



加熱・発火の原因となるタコ足配線をやめ、コンセントは単独で使用してください。

注意

開梱後は、機械各部が完全であることを確認してください。疑問がある場合は使用せずに、販売店に連絡してください。

電源・電源コード

- ・交流100Vで15A以上の容量を持つコンセントを使用してください。
- ・多重配線(タコ足配線)での使用はおやめください。
- ・非常時すぐにプラグを抜けるようなコンセント位置であるか確認してください。
- ・コードは折り曲げないでください。
- ・水や油をかけたりしないでください。
- ・機械を移動する時はコードを抜いてください。
- ・コンセントを抜く時はコードを引っ張らないでください。
- ・コードはテーブル棚等に掛けて置かないでください。
- ・もしコードに損傷がありましたら、当社技術サービス部へご連絡ください。

設置場所

- ・機械は安定した平らな場所に(傾斜2度以内)倒れないよう

に置いて下さい。

- ・壁から100mm以上離してください。
- ・水が掛かりやすい場所は避けてください。
- ・高温の場所や火気の近くなどは避けてください。
- ・屋外や凍結しやすい場所は避けてください。(0℃以下になる場所ではボイラーやパイプ内に残った水が凍結し故障の原因となります)

清掃 (P11, 12, 13・メンテナンス参照)

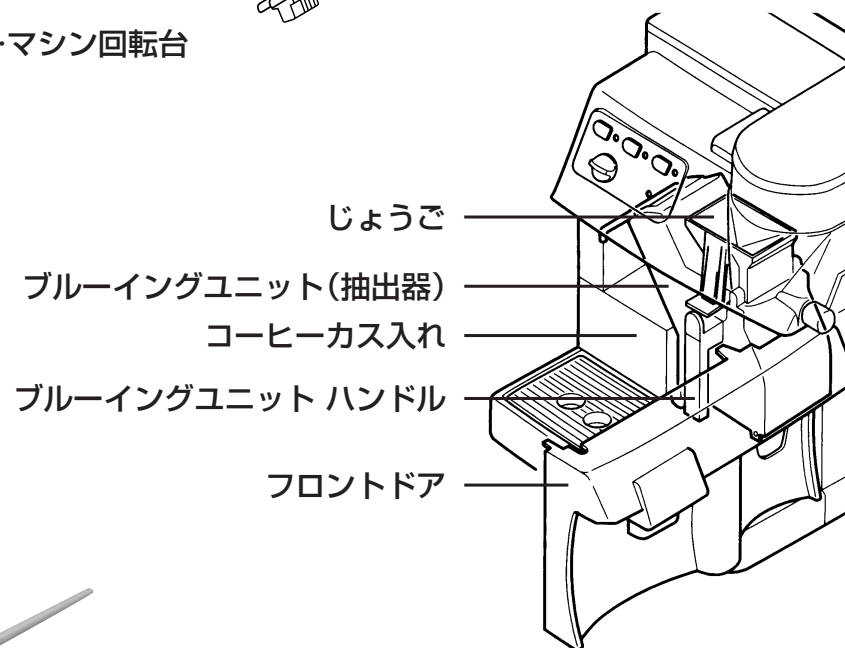
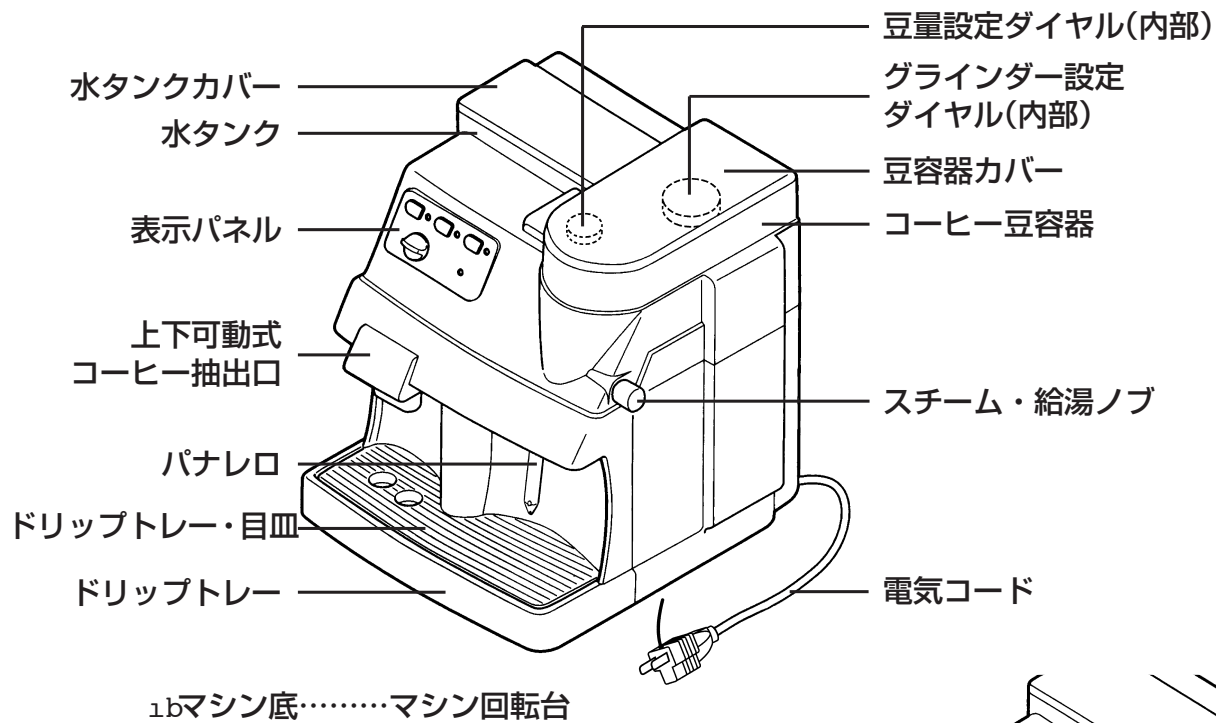
- ・機械を正常に使用していただく為、マニュアルに従って正しく清掃してください。特に、メインスイッチは必ず切って本体が冷めてから行ってください。また、本体の水洗いや分解なども絶対にしないでください。

修理及び保守

- ・故障時あるいは落下、転倒した場合には速やかにプラグをコンセントから抜いてください。
- ・修理は、必ず当社サービスセンターもしくは当社認定代理店にご依頼ください。不正修理による機械の故障、またはそれによる怪我には一切責任を負えません。

1. お使いになる前に

各部の名称

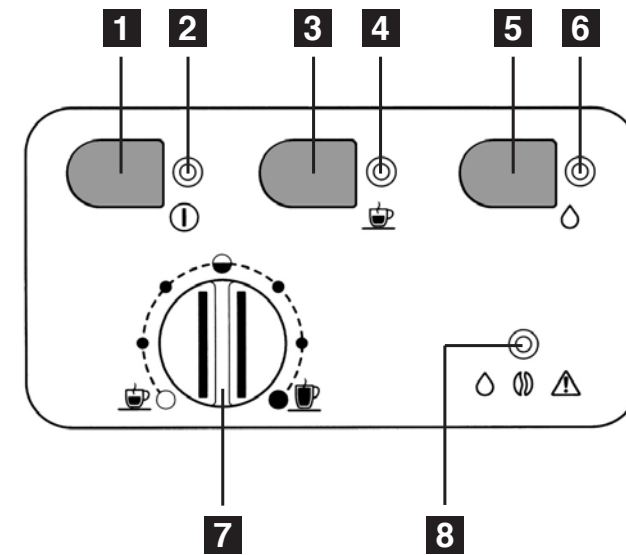


付属品



クリーニング用ブラシ

操作ボタンと表示ランプ



1 メインスイッチ
主電源

2 メインスイッチランプ
電源ONで点灯

3 コーヒー抽出ボタン
1回で1杯、2回で2杯

4 コーヒー温度ランプ
適温で点灯

5 給湯ボタン

6 給湯ランプ

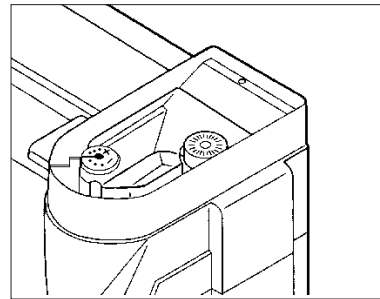
7 コーヒー量設定ノブ

8 警告ランプ
1{10ページ

2. 初めてお使いになるとき

豆容器に豆を入れる

コーヒー豆を豆容器の中に入れ、カバーをしてください。
約300gまで入ります。コーヒー豆以外のものは絶対に入れないでください。

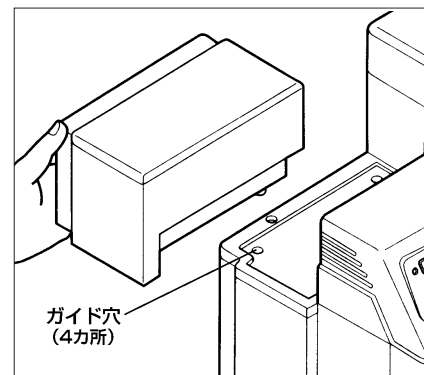


⚠ 注意

水タンクに水を入れるときなど、豆容器に水を垂らすと、豆が練られグラインダーの歯につまってしまう、故障（スリップ等）の原因となります。豆容器はいつも必ずカバーをしておいてください。

水タンクに水を入れる

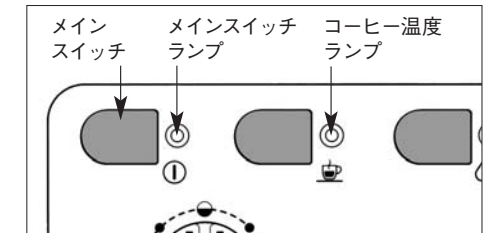
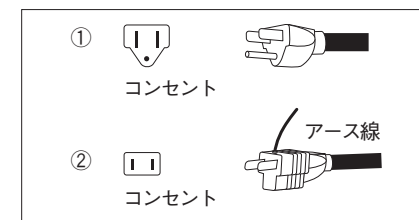
- ① 水タンクの凹みを持ってマシンから外し、カバーを取って下さい。
- ② 新鮮な水を入れてください。最大1.7リットル入ります。（お湯は絶対に入れないでください）
- ③ 水を入れたらすぐにカバーをして元の位置に戻してください。本体4ヶ所のガイド穴に水タンクの4本の足をきちんとはめて下さい。（ガイド穴の中のゴミや豆は必ず取り除いておいて下さい）
水タンクはカラになる前に水を補給しましょう。



電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込みメインスイッチを押し込んで下さい。メインスイッチランプが点灯し、コーヒー温度ランプが点滅をはじめ、約2分後に点灯に変わり適温となります。

アース付き3つ穴コンセントの場合→図①、2つ穴コンセントの場合→図②アース線はつけたままご使用下さい。



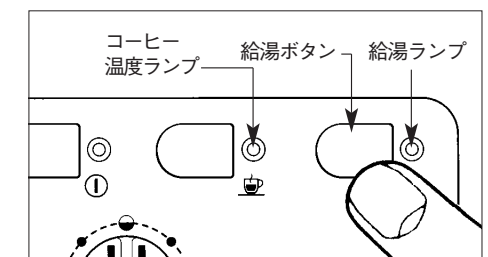
⚠ 注意

電源を入れた際、警告ランプが点滅した場合は、マシンの状態が不完全です。一度電源を切り、10ページ「点滅の場合」の各項目を確認し、もう一度電源を入れ直して下さい。

空気抜きを行う

初めて使う時や、長期間使っていなかった時には、ボイラーに水を通し、コーヒーの抽出をスムーズにする為に空気抜きをして下さい。

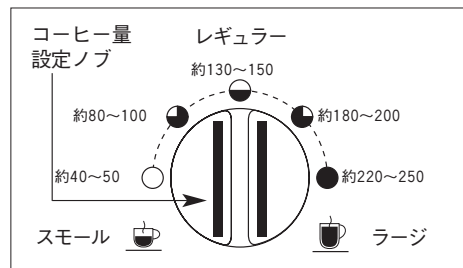
- ① パナレロの先端をカップ等の中に入れて下さい。
- ② 給湯ボタンを押し給湯ランプの点灯を確認して下さい。
- ③ スチーム・給湯ノブを手前に回してカップ半分ほどお湯を出して下さい。ノブを元に戻すとお湯の抽出が止まります。
- ④ 給湯ボタンを再度押して元の状態に戻して下さい。給湯ランプが消灯します。
以上で空気抜きが完了しました。



3. さあコーヒーを入れましょう

コーヒーの量を決める

マシン正面のコーヒー量設定ノブを目盛に合わせてすることで、カップサイズに合ったコーヒーの量が抽出できます。右図をご参照下さい（マシンにより多少の誤差が生じますので目安としてお考え下さい）。

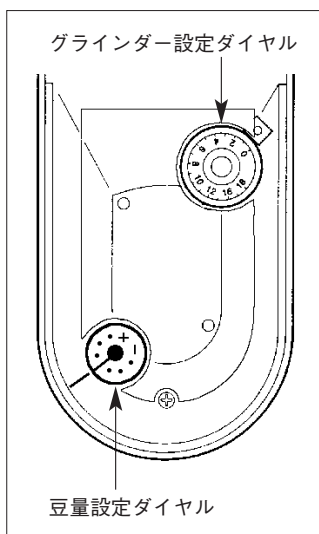


コーヒーの味を調整する

豆の粉碎度や豆量によって、コーヒーの味を変更することができます。

・豆の粉碎度を決める

豆容器のカバーを取り、円形のグラインダー設定ダイヤルを手で回して下さい。目盛は0~18までありますが、6~10が適当です。数字が大きくなれば粗く、小さくなれば細くなります。以後、このダイヤルを動かすときは、グラインダーが豆を挽いている間だけ回すようにしてください。



⚠ 注意

豆の粉碎が細かすぎたり粗すぎたりすると、フィルターの目詰まりなどの故障を招きます。目盛り「4」～「12」での使用をおすすめします。

⚠ 注意

グラインダー静止中にダイヤルを無理に動かすと、豆がつまりグラインダーの歯の位置がずれたりキズがつくことがあります。ご注意ください。

・豆量を決める

1杯分に使用する豆量をダイヤルにより変更することができます。ダイヤルの白い中央線を目印に合わせた位置で約7.5g、「+」の方向に回すと量が増え、「-」の方向に回すと量が減ります。豆の種類によって重さは大きく異なりますので、実際の味を確認しながら微調整して下さい。（1目盛=±約0.5g）

コーヒーを入れる

必要な準備が整いましたので、コーヒーを入れてみましょう。

- ①カップをコーヒー抽出ノズルの下に置いて下さい。（抽出ノズルは上下に動かせます。カップの高さに合わせて調整して下さい。）
- ②コーヒー量設定ノブを、お好みの位置に合わせて下さい。（7ページ「コーヒーの量を決める」参照）
- ③コーヒー抽出ボタンを押して下さい。グラインダーが作動し設定量の豆を挽いた後コーヒーの抽出が始まり設定量で自動的に抽出が止まります。（途中で止めたいときは、もう一度コーヒー抽出ボタンを押して下さい）

1b二杯取りの場合（一度に2杯まで連続して抽出することが出来ます）コーヒー抽出ボタンを続けて2回押し、連続して2杯目の抽出を行います。

それでは、挽きたてのイタリアンコーヒーをお楽しみください。



⚠ 注意

コーヒーを抽出する際には、必ず水やコーヒー豆の残量を確認し、無くなる前に補充するようにしてください。

⚠ 注意

カス入れは、10杯分を目安に随時カスを捨ててください。あふれると、重大な故障を招く恐れがあります。

4. その他の機能

スチームの使用

ミルクを泡立てたり、温めることができます。

A. 泡立て方

- ① 給湯ランプの消灯を確認してください。(点灯していたら給湯ボタンを押して消灯させます)
- ② スチームノズル内に残っている水を抜くため、いったんスチーム給湯ノブを開きます。数秒後、熱湯が少量噴き出します。
- ③ 熱湯がスチームに変わったらノブを閉じてください。
- ④ よく冷えたミルクを入れたカップにノズルを1~2cmだけ差し込んで、徐々にノブを開いていくとスチームが噴出します。
- ⑤ カップをやや回すように動かして、ミルクの中に空気を取り入れていくと泡立ちます。
- ⑥ カップが手に熱く感じてきたらノブを閉じてください。(熱くなりすぎると泡立ちません。)
- ⑦ 使用後はすぐにぬれた布でノズルをキレイに拭き取ってください。

B. 温め方

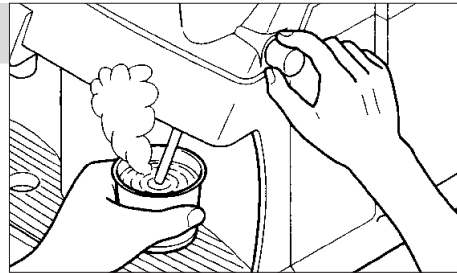
手順は泡立てる場合と同じですが、ノズルの先端はミルクの中に深く差し込んでください。



警告



スチームは高温です。絶対に手を出したり、ノズルに直接触れたりしないでください。ヤケドをします。



警告ランプ

■ 点灯の場合

以下の場合に警告ランプが点灯します。

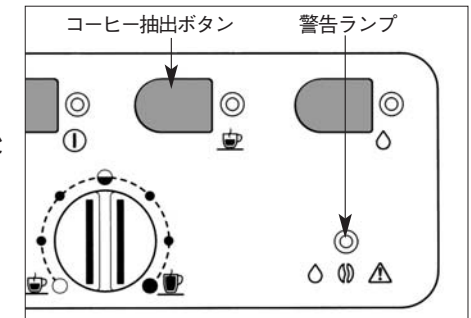
- ① コーヒー抽出中に豆容器の豆が無くなると、約20秒後にマシンが自動的に停止し、警告ランプが点灯します。豆を補給し、再度、コーヒー抽出ボタンを押してください。警告ランプが消え、コーヒーが抽出できます。

※グラインダーが空転中(約20秒間)に豆を補充すれば、ランプは点灯せず、そのまま抽出動作を続けます。

- ② 水タンクがカラになると、警告ランプが点灯します。水を補給して空気抜きを行なってください。警告ランプが消えれば抽出可能となります。

※空気抜きは6ページ「空気抜きを行う」をご参照ください。

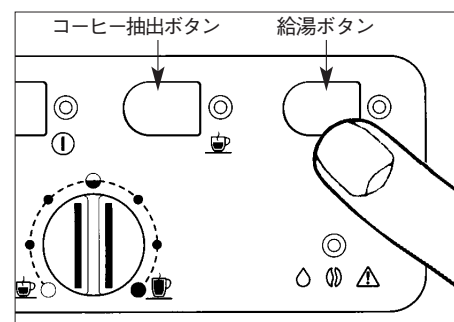
※豆や水はすっかり無くなる前に常に補充してください。



■ 点滅の場合

以下の場合に警告ランプが点滅しますのでチェックしてください。

- ① ブルーイングユニット(抽出器) がきちんと装着されていないとき
- ② カス入れがきちんと装着されていないとき
- ③ ドリップトレイ(水受け皿) がきちんと奥まで入っていないとき

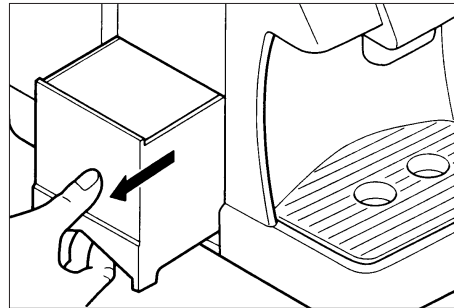


5. 保守・メンテナンス

毎日のクリーニング

■カス入れ

まずメインスイッチを切り、メインスイッチランプが消えたのを確認します。カス入れをマシンの左サイドから取り出します。よく水洗いして汚れを取り、水分を拭き取ってから元に戻してください。

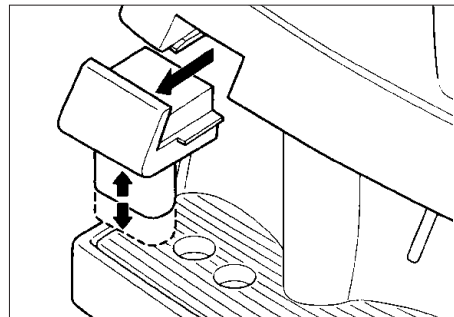


注意

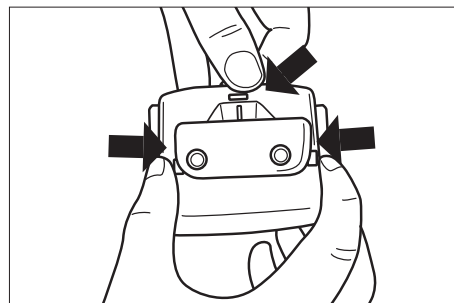
カス入れは、10杯分を目安にカスを捨ててください。あふれると、重大な故障を招く恐れがあります。

■コーヒー抽出口

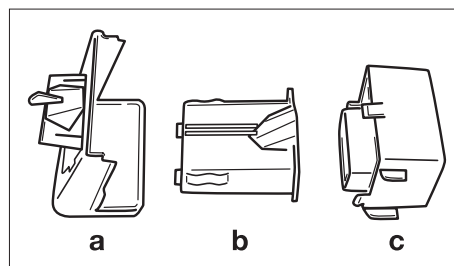
- ①メインスイッチを切ります。
- ②マシンのフロントドアを押さえながら、抽出口を手前に引くと外れます。
- ③抽出口を裏返すと3つのツメ(図②)があります。これを指先で押し込んで外すと3つに分解できます。(汚れがひどいと外れにくいことがあります。この場合は熱湯に2~3分漬けておくと外しやすくなります。)
- ④中性洗剤を使って洗浄後、水分をきれいに拭き取ります。
- ⑤分解した時の逆の順番で組み立てます。(bとcの差込方向を間違えないようご注意ください。)
- ⑥本体にセットする時は抽出口左右の突起部を本体の挿入口に合わせ、パチンと手応えを感じるまで強く押ししてください。



本体から外します。



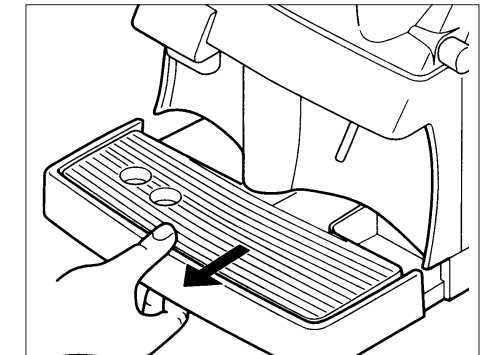
3つのツメを外します。



抽出口は、3つの部品で構成されています。

■ドリフトレー・目皿

ドリフトレー・目皿は、カス入れ同様、最もよく汚れるパーツです。前へ引き出すと簡単に取り外せます。ぬるま湯でよく洗った上で、水分を拭き取り元に戻してください。



注意

食器洗浄機および乾燥機は絶対に使用しないでください。部品が変形・破損する恐れがあります。

■パナレロ

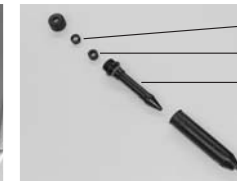
ノズルの外筒は、上部の締付けキャップを押さえて下に引けば外れます。外筒の内外面を、柔らかい布またはスポンジを使ってきれいに水洗いしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を使って汚れを落とした後、水で洗剤を完全に洗い流してください。側面上部の小孔も、詰まりがないように針のような細いもので清掃してください。ミルクをご使用の場合は、パナレロ全体をスチームノズルから取り外し(ネジを回すと取り外せます)洗ってください。洗浄する際は、内部のリングを紛失しない様に御注意ください。



①外カバーを引抜きます。



②手でねじをゆるめ引抜きます。



③パナレロは5つの部品で構成されています。
☆プラスチック製のリングが上、ゴム製のリングが下になるように取り付けてください。

プラスチック製リング
ゴム製リング
Oリング

パナレロ全体を洗浄後セットし直す際は、はじめ外筒をはずした状態で内筒のみをノズルに装着し、上部の締付けキャップをきちんと締付けてください。手で引っ張ってみて内筒がノズルからずれず、きちんと装着されているかを確認したら最後に外筒を押し込んでください。



注意

各孔を掘げたり傷つけたりしますと、スチーム使用時に、良い泡立ちが得られなくなることがあります。清掃は丁寧に行ってください。



警告

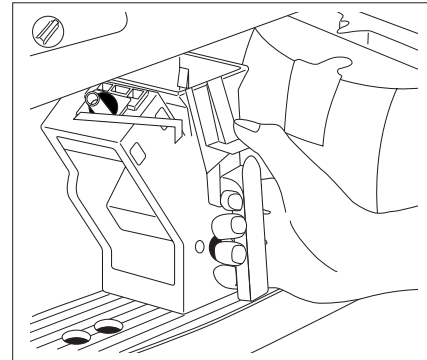
再装着時の取付が不完全の場合、お湯やスチーム使用中に勢いよく抜けしてしまうことがあり、大変危険です。

6. 困ったとき、ご確認ください

ブルーイングユニット(抽出器)のクリーニング

■ブルーイングユニット(抽出器)の取り出し方

まずメインスイッチを押して電源をオフにします。ランプが消えたのを確認してください。フロントドアの左側をつかんで手前に引いてドアを開きます。コーヒークラス入を左に抜き出しておきます。次に正面に見える抽出器ハンドルを握って、親指でPRESS (プレス) と書かれたプレートを押し下げます。カチッと音がしたら、ハンドルを手前に引いて取り出してください。



■ブルーイングユニット(抽出器)のクリーニング

取り外したブルーイングユニットは、流水で水洗いしてください。この時、グリースを洗い流さないように必ず水で洗ってください。



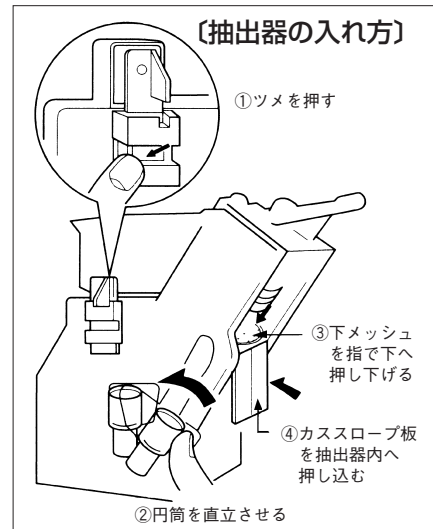
注意

本体内側に塗られているグリースは、ブルーイングの動作に必要なものです。洗い流さないように注意して下さい。コーヒークラスが付着したままでもかまいません。

■ブルーイングユニット(抽出器)の入れ方

抽出器を入れるときは、抽出器の状態を以下のとおりにしてください。①ハンドルの反対側にある〈ツメ〉を指先で押すと、カチッと音がして〈じょうご〉が5mmほど下がります。次に右図の②円筒を直立させて、③下メッシュを指で強く押し下げ ④カススロープ板が抽出器の中に隠れているのを確認してください。

マシン本体にセットする時は、ハンドルを持って静かに奥へ入れてください。抽出器取付部下にある土台の左右の溝に、抽出器底面の両カドが正しく嵌るように水平を保ってください。抽出器が奥に突き当たったら、親指でPRESS (プレス) を下方へ押すとカチッと音がします。さらに奥へ押し込むと再びカチッという音とともに抽出器はロックされます。ドアを閉じ、カス入れ容器を元に戻して終了です。



メインスイッチが入らない。	⇒電源プラグは入っていますか？ ⇒フロントドアが開いていませんか？
コーヒーが抽出されない。 警告ランプ点灯 警告ランプ点滅	⇒スチーム・給湯ノブを回して、カップ1杯分のお湯を出してください。 ⇒水、豆は入っていますか？ ⇒抽出器、カス入れ、ドリフトレーを正しくセットし直してください。
スチームやお湯が出ない。	⇒ミルクが固まっていると思われる。 ノズルを針でつついてみてください。
コーヒーの出方が以前より遅くなった。	⇒抽出器のフィルターを掃除してください。 メッシュが詰まっているおそれがあります。
コーヒーがぬるい。	⇒カップを温めてからご使用ください。3℃~4℃違います。
抽出器が取り外せない。	⇒電源を一度切り、フロントドアを閉め、再度電源を入れ直してください。
抽出器が取り付けられない。	⇒13ページの「ブルーイングユニット(抽出器)の入れ方」を参照してください。
作動中に豆がなくなった。	⇒グラインダーが作動中であれば、そのまま豆を補充してかまいません。 作動が停止した場合は、豆を補充してから、再度コーヒー抽出ボタンを押して下さい。
コーヒーが薄い	⇒グラインダー設定ダイヤルで数字を1~2程度小さくして下さい。 (4番以下にはしないで下さい。)
コーヒーが濃い	⇒グラインダー設定ダイヤルの数字を1~2程度大きくして下さい。 (12番以上にはしないで下さい。)
コーヒーの泡立ちが悪い	⇒グラインダー設定ダイヤルで数字を1~2程度小さくして下さい。 (4番以下にはしないで下さい。)

※その他のトラブルが発生したら、ただちに使用を中止し、コンセントからプラグを抜いて、販売店までご連絡ください。

修理を依頼される時

上記の「困ったときご確認ください」の表もよくお読みの上調べていただき、直らないときはまずメインスイッチを切り、電源プラグも抜いて、お買い上げの販売店又は当社サービスセンターへご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本機の補修用性能部品の保有期間は販売打ち切り後5年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

- ・会社名及び氏名
- ・ご住所
- ・製品名、シリアルNo. (お手持の保証書をご覧ください。)
- ・故障または異常の内容 (詳細をお願いします。)